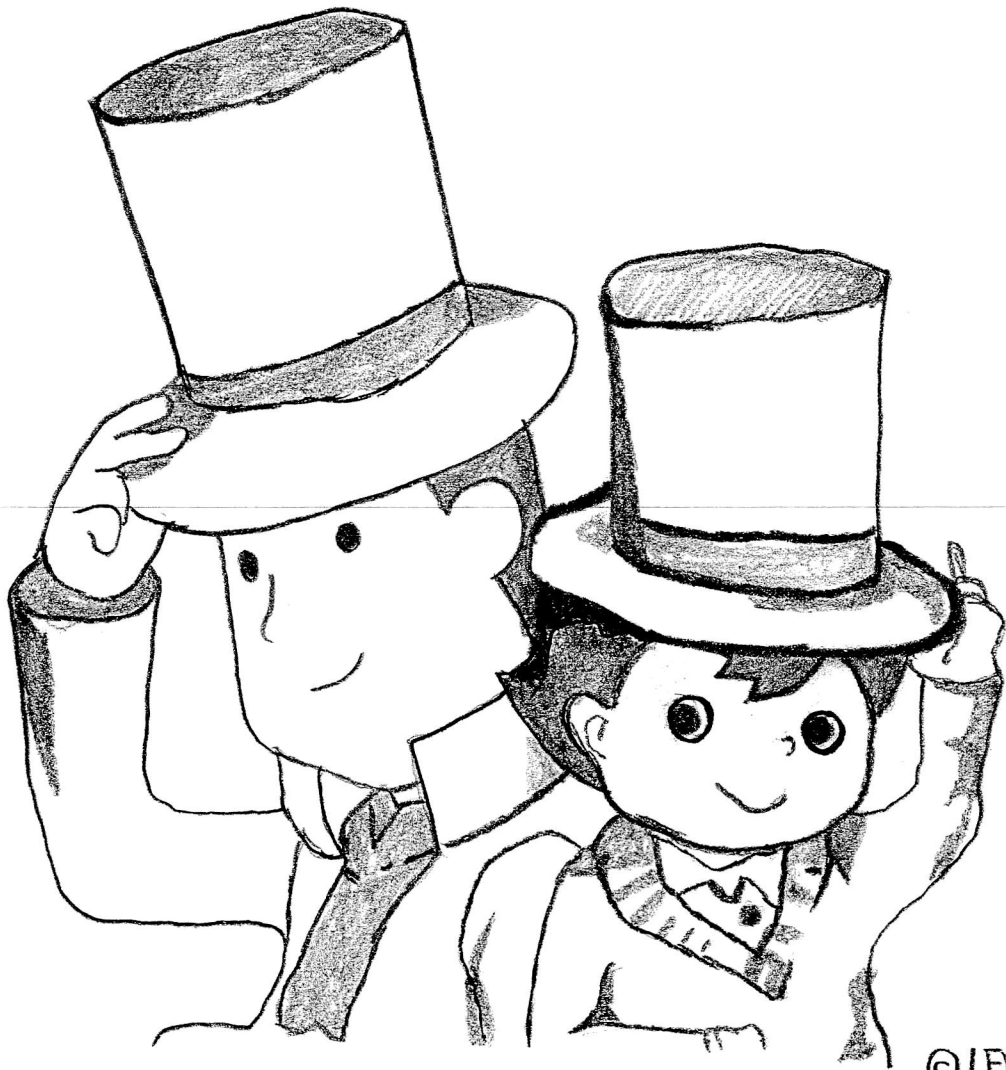




© LEVEL 5

皮膚系 - Dermatology - TEAM X-X Go for 2011. 1. 12. Wed (7枚)

Theme. 1 皮膚の構造・機能

Theme. 8 皮膚感染症

Theme. 2 湿疹・皮膚炎群

Theme. 9 膠原病とその類症

Theme. 3 蕁麻疹・紅斑・紅皮症

Theme. 10 母斑症・皮膚腫瘍

Theme. 4 紫斑症・血管炎

Theme. 11 炎症性角化症

Theme. 5 物理化学障害

Theme. 12 脈管系皮膚腫瘍

Theme. 6 中毒疹・薬疹

Theme. 13 皮膚免疫学

Theme. 7 水疱症・膿疱症

※ 皮膚科の写真所見を見る場合は「Perfect CBT! ~皮膚編~」を見て下さい。

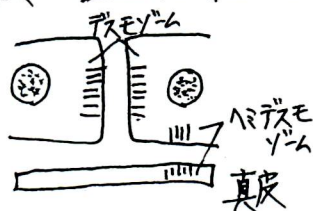
Theme. 1 皮膚の構造・機能 (三井)

★皮膚とは

- ・上層から 表皮、真皮、皮下組織 の3層に分けられる。
- ・表皮が真皮に向かって突出する部分を 表皮突起、逆に真皮が表皮に入り込む部分を 真皮乳頭 という。

★表皮とは

- ・表皮は 基底細胞層 → 有棘細胞層 → 顆粒細胞層 → 角質細胞層 の4層からなる。
- ・表皮の基底細胞において



細胞質 ... ケラチン 繊維

細胞膜 ... デスモソーム や ギャップ結合

真皮側と ヘミデスモソーム を形成する。

- ・表皮と真皮の境には 基底膜 が存在する。

基底膜 — 基底板 (IV型コラーゲンで構成)

— 真皮側に付着する 係留繊維 (VII型コラーゲン)

- ・メラノサイトは血中の チロシン がチロジナーゼに酸化され、ドーパ になる。成熟したメラノソームは 棘状突起 へ移動し、表皮角化 細胞に貪食される。
- ・ランゲルハンス細胞は骨髄由来の 樹状細胞 で、基底層 上層に多い。遅延型過敏反応における 抗原提示細胞 である。

★真皮とは

- ・間質成分 — 膠原繊維 (真皮の主要成分。80%は タイプIコラーゲン で構成)

— 弾性繊維 (繊維芽細胞 で作られる。加齢 により変性する)

- ・細胞成分 — 繊維芽細胞 (膠原繊維・弾性繊維を産生する)

— 組織球 (骨髄由来の単球・大食細胞系)

— 肥満細胞 (血管周囲に分布し、Hisなどの化学伝達物質を産生する)

☆付属器とは

①毛器官



・毛周期とは

成長期 → 退行期 → 休止期

②脂腺

- ・皮脂 を産生する。また、TGをリパーゼで分解し、遊離脂肪酸 を放出する。
- ・皮脂は外界の物質に対する緩衝作用や殺菌作用を示す。

③汗腺

- ・エクリン汗腺…分布 口唇、魚頭、包皮内板、陰核、小陰唇 以外。
手掌や足底に多い。体表面に開口分泌する。

機能 体温低下に重要

- ・アポクリン汗腺…断頭分泌する。導管は真皮内を上行し、毛漏斗上皮に開口。

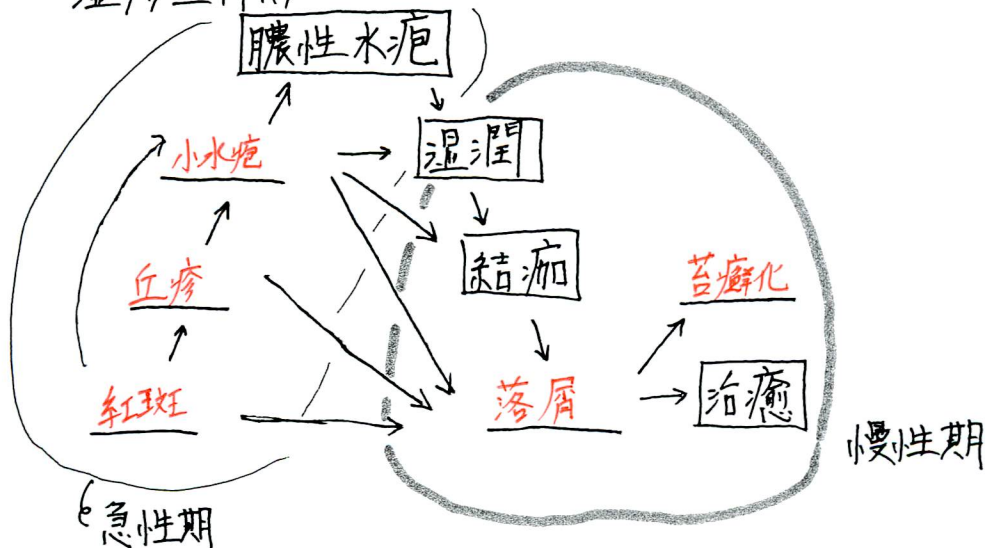
Theme. 2 湿疹・皮膚炎群 (渡会) P14.

・テストには出ないとか…？ でもCBT的に大事。

☆総論 (ポイント)

- ①皮膚の多様性がある。②瘙痒を伴う。③病理所見で海綿状態。

湿疹三角形



☆ アトピー性皮膚炎 P86

- ・ 湿潤性湿疹を主病変とする。慢性・反復性に経過する。
- ・ 乳幼児期に左右非対称性に顔面から全身に広がる。また耳切れを起こす。
- ・ 検査所見は末梢好酸球上昇、血清IgE上昇、RAST陽性
- ・ 合併症は眼症状（白内障・網膜剝離）、感染症（Kaposi水痘様発疹症・とびひ）
- ・ 治療はステロイド外用、療沃や抗アレルギー薬内服。

☆ 接触皮膚炎 P76

- ・ 原因物質との接触部位に一致してみられる湿疹反応。
- ・ 一次刺激性とアレルギー性（IV型）に分類される。
- ・ 初発症状は紅斑・瘙痒感。検査はパッチテスト（貼付試験）
- ・ 治療はアトピー性皮膚炎と同じ。

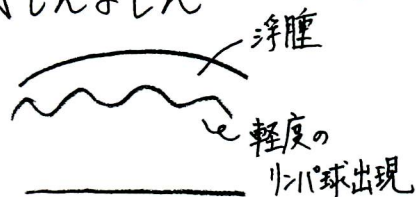
Theme. 3 蕁麻疹・紅斑・紅皮症（齊藤）

・ 本試は穴埋め。追試はお絵書きだそう。

☆ じんましん

P16. プリント

水泡形成はない！



P93.

- ・ 膨疹の出現が特徴とされる疾患
- ・ 特徴として
 - ① 通常数時間程度で、跡を残さず消失
 - ② 強い瘙痒を伴う。
 - ③ 紅色描記症
 - ④ 虫咬に刺された様な皮疹が大小不同、不整な形をしている。

・ 分類として

1ヶ月以上経過したものを慢性、1ヶ月以内で膨疹出現しないものを急性。

・ 原因は多岐ありで、特定しにくい。原因検索は皮内テストやIgE RAST。

治療は原因物質の解明と除去。抗His剤、抗アレルギー剤の内服。

★紅斑王

p25, p103

<定義> 皮膚の 最小血管 の 炎症性充血 による可逆的な赤い斑王。

①多型滲出性紅斑王

p103

erythema multiforme



重症型を Stevens-Johnson syndrome という。

原因の半数以上は 薬物。

感染や薬剤投与が誘因。

四肢伸側、左右対称性に多環状紅斑王が多発。

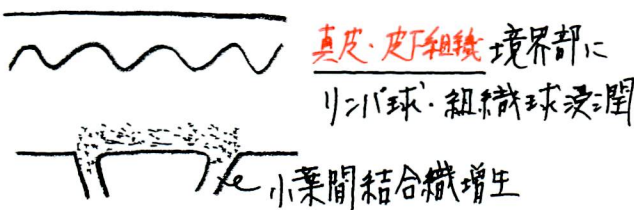
②バーチエット病

4主徴: 口腔粘膜の再発性アフタ性潰瘍、眼 症状、皮膚 症状、外陰部 潰瘍

③結節性紅斑王

p104

erythema nodosum



原因として

サルコイドシス、薬疹、バーチエット病

潰瘍性大腸炎、癩 (ハンセン病)

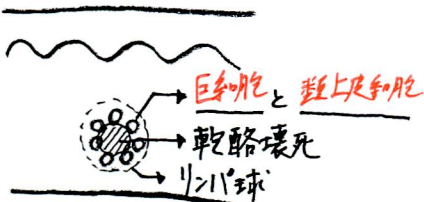
細菌感染症、ウイルス感染症

"サル" になったら
ヤバー・カウ

④硬結性紅斑王 (バザン)

p105

erythema induratum



結核 に関連して出現する紅斑王。

局所に結核菌は いない。

自壊 → 潰瘍 → 経過。

(cf. 非結核性の場合、自壊しない)

★紅皮症

p90

<定義> 全身 ないし、ほとんど 全身 に皮膚の炎症による発赤・鱗屑がみられる状態。
脱毛や爪の変形も起こる。

↑
NaOH 浸漬もつく

Theme 4 紫斑王症・血管炎 (特別講義)

p26, p110

p22

p113

検査

★アレルギー性紫斑王病 (シェンライン・ヘンッホ紫斑王病)

<概念> 真皮の 細小血管 の 壊死性血管炎 を特徴とする紫斑王病。

免疫複合体病 (抗原 + IgA)

<原因> 小児では 上気道感染 後発症、成人では 薬剤、悪性腫瘍と関連。

<好発部位> 足背 から 下腿 伸側。

<皮膚症状> 点状出血 <全身症状> 腎症状 (血尿・蛋白尿)、腹痛、関節痛。

<病理> 真皮の細小血管壁に IgA 沈着 <検査> 血小板数 正常

☆ Wegener 肉芽腫症 P117

<概念> 上下気道の 壊死性肉芽腫。 C-ANCA 関連血管炎

<症状> 初発は 上気道 症状。進行すると 肺症状、腎症状、眼症状 を生じる。

<診断> C-ANCA 陽性が重要。

血尿、蛋白尿 → 高血圧

↓
腎不全

(症状)

+ 鼻出血、呼吸困難

免疫抑制剤、副腎皮質ステロイド treatment
を行えば、半年~数年と極めて急速な経過の後、

最終壊死性糸球体腎炎、肝炎、大出血などで死にます。

Theme. 5 物理化学障害 (齊藤)

・穴埋めでよい。

☆ 熱傷

・I度・II度・III度に分けられる。I度はいわゆる 日焼け である。

☆ 褥瘡 P139 decubitus

・持続的圧迫による血行障害に基づいて生じた皮膚障害。

増悪因子は 貧血、栄養不良。治療では 徐圧、栄養管理、局所の感染コントロール を大切にする

☆ 日光による皮膚障害 P127

・紫外線のうち、地表に到達しないのは VVC。

オゾン層で吸収された。

UVA が作用波長なのは、ホルモン 症、ペラグラ、色素性乾皮症 etc

UVB が作用波長なのは、日光皮膚炎。

UVA (波長: 320~400nm)

UVB (波長: 290~320nm)

VVC (波長: 10~290nm)

Theme. 6 中毒疹・薬疹 (増澤早)

☆ 薬疹 drug eruption P38 P183

<定義> 薬剤が 体内 に入り、種々の発生機転で 皮膚 または 粘膜 に異常を生じた状態。皮膚症状から 原因薬剤 を特定するのは不可能。

★重症型薬疹

P195 → P103. 多形滲出性紅斑の重症型!

① Stevens - Johnson 症候群 同義語: 粘膜皮膚眼症候群.

mucocutaneous ocular syndrome

全身に分布する小指頭大から拇指頭大の隆起した紅斑で、水疱を形成する。

口腔粘膜、口唇粘膜に発赤・びらん・血痂をつける。紅斑発疹や角膜混濁がみられる。

② 中毒性表皮壊死症 (TEN) P148. toxic epidermal necrolysis.

広範囲のSJSの皮膚の広範囲なもの。全身の皮膚に紅斑が出現。

広範囲のSJSの皮膚の広範囲なもの。全身の皮膚に紅斑が出現。

Nikolsky ニコルスキー 現象陽性 → 水疱と紅斑面のわずかな擦過で表皮が剥離する。

内服誘発テストは禁忌。高い致死率 → 重症熱傷と同じ治療方針

③ 薬剤性過敏症候群 drug-induced hypersensitivity syndrome

発熱と臓器障害を伴う重症な薬疹。HHV-6の再活性化が生じる。

原因薬剤が限られている。発疹は、発熱を伴う紅斑丘疹や多形紅斑である。

検査: 白血球(好中球↑, 好酸球↑)
治療: 副腎ステロイド薬

★薬疹の病態生理

P41.

I型 (アナフィラキシー型、即時型): IgE が関与、蕁麻疹型 → スクラッチテスト

II型 (細胞毒性型): 抗原抗体反応、薬剤性肝機能etc

III型 (アルサス型): 抗原抗体複合体が組織に沈着 (免疫複合体)

IV型 (細胞性免疫型): 感作T細胞が関与。多くの薬疹型。

★臨床病型

① 固定薬疹 fixed drug eruption (FDE) P145.

痒疹とヒリヒリ感のあつ

境界明瞭な褐色斑。

治療後: 紫褐色の色素沈着を認む。

薬剤の内服、注射後に皮膚の同一部位に繰り返し出現する薬疹

原因薬剤を内服すると次第に皮膚が増えて多発性になり、

さらにTEN型に移行する症例もある。検査はパッチテスト。

② 播種状紅斑丘疹型 (MP-DE) 薬疹 - 最多型

③ 多形滲出性紅斑型 (EEM-DE) 薬疹 - 2番目に多い。

重症になるとStevens-Johnson 症候群やTENに移行する。

★自己免疫性水疱症

① 尋常性天疱瘡 P150 pemphigus vulgaris.

<好発年齢> 中年、老年 <皮膚症状> 弛緩性水疱、Nikolsky現象

<好発部位> 口腔内 <検査所見> Tzanck試験 陽性

<病因> 粘膜慢位型で デスモグリン3、粘膜皮膚型で デスモグリン3と1 が抗原

<病理> 基底膜直上に 棘細胞 性の粘膜 表皮内水疱。

<診断> 蛍光抗体直接法: 表皮細胞間に IgG 沈着

.. 間接法: 抗デスモグリン3 の存在。

<治療> ステロイド 全身療法、血漿交換療法、免疫抑制剤

② 落葉状天疱瘡 P151 pemphigus foliaceus.

<好発年齢> 中年 <皮膚症状> 弛緩性水疱 → ひらん → 痂皮 → 落屑

<病因> デスモグリン1 に対する自己免疫疾患

Nikolsky現象 (+)

<病理> 角質下の 棘細胞 性の 表皮内水疱

粘膜の侵襲は 軽微 (粘膜は Dsg1 の割合が少なく、棘細胞 の割合が多い)

<診断> 蛍光抗体直接法: IgG 沈着。間接法: 抗デスモグリン1 の存在。

③ 水疱性類天疱瘡 P153 bullous pemphigoid

“緊張性”とは、内容物で充満して、緊張して破れにくいものを指す。

<好発年齢> 老年 <皮膚症状> 緊張性水疱。紅斑 や 瘙痒 を伴う。

ニコルスキ-現象は 陰性。

<検査> 白血球好酸球 増多 <病因> BP180 に対する自己免疫疾患

<組織所見> 表皮下水疱。真皮上層に 好酸球 浸潤。

<診断> 蛍光抗体直接法: 基底膜部に IgG と C3 の線状沈着

.. 間接法: 抗BP180抗体 の存在

★膿疱症 ^{pustulosis p48. p/61}

①掌跖膿疱症 ^{p161 pustulosis palmoplantar 関節}

<好発年齢> 成年 <全身症状> 胸肋鎖 部骨化症に10%合併
<検査> X線. シンチ
・36才以上の好発・掌跖に对称性に無菌性膿疱が好発、慢性に経過
・病因として病巣感染と長期喫煙が主と云う。

②壊疽性膿皮症 ^{p198 pyoderma gangrenosum}

<合併症> 大動脈症候群、潰瘍性大腸炎、慢性関節リウマチ、MDS

Theme. 8 皮膚感染症 (新山)

bacterial infections.

★細菌感染症

p102. p298.

①伝染性膿痂疹 (とびひ) ^{p299.}

impetigo contagiosa.

表皮剥脱毒素

exfoliative toxin (ET)

<症状> 水疱 → 膿疱 → かさ → 痂皮 <原因> 黄色ブドウ球菌、7-β II群7型

②ブドウ球菌性熱傷様皮膚症候群 (SSSS) ^{p304 staphylococcal scalded skin syndrome}

<症状> 水疱 を形成 (原則的に無菌)、ニコルスキー 現象陽性。

<好発部位> 頸部、腋窩、陰股部 (間擦部) <特徴> 紅斑、水疱、びらん

<原因> 黄色ブドウ球菌 の産生する 表皮剥脱毒素 による中毒反応 予後良好

③丹毒 ^{p302 erysipelas.}

突然の悪寒熱と発熱、全身倦怠感

<原因> A群β溶血性連鎖球菌 <特徴> 顔面 に好発する鮮紅色の 紅斑

腎臓等に生じなければ予後良好

④尋常性毛瘡

p300 sycosis barbae

緊急性に膿腔が浮腫性

<特徴> 黄色ブドウ球菌が多く、成人男性に好発。眉毛 部の 深在性 毛嚢炎。

⑤化膿性汗腺炎 ^{hidradenitis suppurativa. p307}

<特徴> 青年女性に好発。アポクリン腺 (腋、陰股部、肛周) に見られる。

⑥乳児多発性汗腺膿瘍

p301 multiple sweat gland abscess of infant.

足下不衛生
の発

<特徴> 頸部 や 顔面 に好発

エクリン汗腺開口部上の黄色ブドウ球菌感染等による。

乳児では毛包やアポクリン汗腺は未だ十分に発達していません。
通常はエクリン汗腺に感染を起す。しかしこの乳児ではアポクリン汗腺に感染を起すことが多くあり。

★ウイルス感染症

①単純(性)疱疹 ^{p316 herpes simplex}

<原因菌> herpes simplex virus (I型は 口唇、II型は 陰部) 90%以上の不顕性感染

Tzanck testでウイルス巨細胞(+) 皮膚マスメアカスのウイルス検出の証明

<症状> 小水疱、疲労、母親からの産道 感染 <治療> 抗ウイルス 剤の内服(アシクロビル)
日光に敏感 発熱

- ② Kaposi 水痘様発疹症 p317 同義語: 疱疹性皮膚病 eczema herpeticum
 ・単純疱疹の主として 初感染 病変が アトピー性皮膚炎 などである。全身症状を呈す。
 水痘が突然多発し、同時に倦怠感(全身)と発熱を呈す。
 全身症状を呈す。
 ③ 帯状疱疹 herpes Zoster p319 DNA virus Varicella-Zoster virus. 内耳障害、味覚障害
 <原因> 水痘帯状疱疹 ウイルス <合併症> Ramsay-Hunt 症候群 (顔面 麻痺)
 <症状> 帯状疱疹後 神経痛。一定の 脊髄n. 分布。脳神経領域に一致する片側性。
 ④ 尋常性疣贅 (いぼ) p322 verruca vulgaris.
 <原因> Human Papilloma Virus 1, 2 <好発> 小児の 手足、肛門 に多い
 <治療> 液体窒素 療法
 ⑤ 青年扁平疣贅 p323 verruca plana juvenilis ゲナレル
 <原因> Human Papilloma Virus <特徴> 青少年に多く、Köbner 現象(線状配列)が見られる
 ⑥ 伝染性紅斑王 (りんご病) erythema infectiosum p328
 <原因> Human Parvovirus B19 <症状> 両頬部の 平手打ち 様紅斑王。 V 様紅斑 (四肢)
 虫歯様紅斑 (手関節様)
 <特徴> 妊婦に感染すると胎児死亡
 ⑦ 尖圭コンジローマ p323 condyloma acuminatum.
 <原因菌> Human Papilloma Virus 6, 11.

★真菌感染症 fungal infections

① 足白癬 (tinea pedis) p333.

<趾間型> 第4趾間 (薬指と小指の間) に浸軟する。

② 爪白癬 tinea unguium p334.

<経過> 爪の先端 から爪根部に進行。手足白癬に合併

③ 癬風 p339 pityriasis versicolor

・多汗症の 体幹部 に多く、Wood灯 で蛍光を発する。

④ Celsus 禿瘡 (ケルススとくそう) p335 Kerion celsi.

<特徴> 犬、猫 etc の動物性皮膚 糸状菌。

頭部白癬 で病変の毛髪が容易に脱毛。

毛孔から膿を排出。

治療に毛癬菌を殺すので、その部分が永久脱毛。

多汗症の人に好発
 灰白色や褐色の
 斑状疹が多数

KOH標本で M. furfur
Malassezia
furfur.

小児の頭部に好発

⑤ カンジダ症 P337 Candidiasis *Candida albicans*

<Risk factor> 糖尿病 悪性腫瘍 (AIDS) ステロイド 長期投与

<検査> 直接鏡検で菌毒素の確認。<好発> 間擦部 (腋窩 陰股部 第3指間)

⑥ スポロトリコシス P339 Sporotrichosis

<病原体> 土壌中に存在し、皮膚の外傷から侵入する。 *Sporothrix schenckii* 毎年1-2% 肉芽腫

<診断> スポロトリキン 反応 (スポロトリキンを皮注して48h後に判定)

cf. KOH法では検査できない!

<病型> ① 皮膚・リンパ節型 ② 限局性皮膚型 (小児の顔面) ③ 播種型 (全身)

<治療> ヨドカリ 内服。 局所温熱療法。

Theme 9 膠原病とその類症 (江藤)

☆ 全身性エリテマトーデス (SLE) p181 Systemic lupus erythematosus

<皮膚所見> 蝶形紅斑 円板状 皮膚疹 光線過敏症 口腔内潰瘍 蕁麻疹様紅斑

Raynaud 症状... 寒冷刺激より 白→紫→赤色に変化する。

<検査> 診断... 抗核抗体 抗Sm抗体 抗dsDNA抗体 は治療の指標になる。

<その他> 妊娠の際、抗SS-A抗体 (新生児エリテマトーデス) 抗カルシオピン抗体 (流産の危険) に注意をする。 表皮膚接合部へのIgG, IgM, C3沈着 (Lupus band test ⊕) エリテマトーデス以外の全身疾患を除外

☆ 皮膚筋炎 p56 PM 1 dermatomyositis (DM) Gottron

<皮膚所見> ヘリオトロープ疹 (浮腫性紅斑) ゴットロン syn. (角化性紅斑)

Flagellate erythema → 鞭打状 紅斑 多形皮膚萎縮 爪囲紅斑

<筋症状> 近位筋 > 遠位筋 <その他> 間質性肺炎 内臓悪性腫瘍 の合併 (30%)

<検査所見> 筋原性酵素の上昇: CPK LDH など

細胞質に対する抗体: 抗Jo-1抗体

筋力低下
筋萎縮

多発性筋炎 polymyositis (PM) に皮膚症状を伴ったもの。

Theme 10 母斑王症・皮膚腫瘍 (高頻)

★母斑王症総論 p74. p239 *nervus*

- ① 母斑王細胞を認めるもの ... 色素性母斑 老年性黒色 腫
- ② 母斑王細胞を認めないもの ... 扁平母斑 靑色母斑 太田母斑 蒙古母斑.
単純性黒子
- ③ 真皮メラノサイトが増殖するもの ... 靑色母斑 太田母斑 蒙古母斑.

★母斑王症各論 p75. p244

- ① 結節性硬化症 p244 *phacomatosis tuberous sclerosis (TS)* 3主徴: 巨大血管神経腫, 全口能障害, 痙攣発作 (てんかん)
✓ 常染色体優性 遺伝で, 皮膚所見は, 血管線維腫 や Koenen 腫瘍, 木の芽癩 白斑。
皮膚以外では中枢神経症状として 知能障害 と てんかん がある。
- ② レックリングハウゼン病 (神経線維腫) *neurofibromatosis*
・ 神経線 起源性で, Riccardi 分類だと NF-I にあたる。
皮膚症状として, カフェオレ斑 (6個以上), 神経線維腫, 神経鞘腫 などがある。

★皮膚腫瘍 p86.

- ① 有棘細胞癌 p263 *Squamous cell carcinoma (SCC)* カーフラワーの様な外観, 持続的成長
<発生母地> 熱傷痕, 放射線 障害, 日光皮膚炎, 老人性角化 腫, 色素性乾皮 症

日光, 放射線, タル, 化学物質, 皮膚因子, ボーエン病 etc. 表皮有棘細胞由来の悪性腫瘍である。

- ② 悪性黒色腫 (MM) p87. p267 *Malignant melanoma* メラノーマ
・ メラノサイト or 母斑王細胞 の悪性腫瘍。診断のための 生検 は禁忌。

発生母地は メラノサイト が存在する部位ならどこでも。

- ・ ABCDE が大事で:
A ... 非対称性, B ... 辺縁が不整 で 不明腫, C ... 色に 濃淡, D ... 6mm 以上
E ... 隆起 する

- ③ 乳房外パジェット病 p85. p266 *extramammary Paget disease*.
・ 大部分が 外陰部 で, 表皮内に明るく 大型 の細胞 (Paget cell) が散在。
アポクリン腺の表皮内癌 境界腺癌, 乳癌, など

Theme.11 炎症性角化症 (特別講義・前島)

★尋常性乾癬と扁平苔癬の病理的鑑別点

- ①尋常性乾癬 p171 *psoriasis vulgaris*.
① 不全角化 も伴う過角化 ② 表皮突起 の下方への延長 ③ 真皮乳頭 上の表皮の非薄化
④ 角層内 または直下の 好中球 となる 小膿瘍. 銀白色の鱗屑が剥離したような境界明瞭な紅斑になる。
⑤ 真皮上層に好中球の 浸潤. 表皮内遊走. Kobner ④ Munro 棘状乳頭炎 ⑤ Auspitz ⑤

②扁平苔癬 p176 *lichen planus*

- ① 棘状層の肥厚 を伴う過角化 ② 基底 層の 液状変性 ③ 不規則な 表皮肥厚.
④ 真皮乳頭 層から 乳頭下 層の帯状の リンパ球浸潤 CD4⁺ T cell 5 基底細胞を傷害する

Theme.12 脈管系皮膚腫瘍 (増殖)

★単純性血管腫 p270 *angiomat simplex* 同義語: ホートン母斑 *portwine stain*

- <組織所見> 真皮全層 に及ぶ成熟した 動血管 拡張。
<特徴> 生涯消退 することはない。 肥大型ホートン母斑 がみられる。
<治療> 外科的治療. 凍結療法. レーザー治療 隆起しない赤色斑。

★海綿状血管腫 p291 *cavernous angioma* *Sturge-Weber syndrome* の部分症例の2つあり

- <特徴> 出生時に存在する 弾性軟 のやや青色をおびる 皮下腫瘍. 生涯消退 しない。
<治療> 外科的治療. 胎前胎後形成

★莓状血管腫 p291 *strawberry mark*

- <特徴> 生後 1~2 週目に出現する 莓状の外観 を呈する血管腫
<組織所見> 真皮全層 におよぶ 小血管 の増生 <治療> レーザー療法. ステロイド 投与

★Kasabach-Merritt 症候群 p291

- <特徴> 血管腫が 急増 したときに 血小板減少 を合併する。 DIC をきたしやすい。
<治療> ステロイド 内服 電子線照射 乳幼児に出現する非分化性腫瘍。巨大血管腫。
Sphery の platelet の consumption.

Theme.13 皮膚免疫学(藤村)

★ハンセン病と比較

① TT型

- ・ Th₁ 型の免疫反応が働いているため、IFN- γ が出ることで 細胞性免疫 が行われ、抗体 は出てこない。

② LL型

- ・ 液性免疫 が誘導されている。Th₂ の働きにより 抗体 が産生される。

<比較> TT型

抗らい菌抗体 + ~ -

レプロミン反応 ++

- ① ↳ 細胞性免疫 が誘導されているかを見る反応

らい菌 -

神経障害 +++

- ② ↳ らい菌は神経の シュワン細胞 を好む。細胞性免疫 より、シュワン細胞ごと マクロファージ 貪食。

リンパ球 ++++

- ③ ↳ リンパ球からの サイトカイン により 免疫応答 を行う。

LL型

++++

⇒ 液性免疫 により。

-

++++

⇒ 抗体はらい菌に 無効

末期

+

【Memo】